じ ん だ い

第55号
2019.1.17 (木)
発行：医療法人社団　欣助会　吉祥寺病院
調布市深大寺北町4-17-1　☎042-482-9151
URL　www.kichijoji-hospital.com

基本理念

患者様やご家族の側に立った医療
患者様の社会復帰を目指す医療
全職員相互の力を発揮できる医療

梅の花、院庭にて

Contents

新年のご挨拶……1
新年のご挨拶……2
新年を迎えて……3
文化祭2018開催！……5
学会発表の感想……7
新人紹介コーナー / 行事予定 / 永年勤続表彰……9
当院のおすすめメニュー……10
外来担当表 / 当院略図 / 編集後記……11

新年のご挨拶

院長　塚本　一

今年4月に平成という元号が終わります。新しい元号を迎えるにあたり、自分の中での昭和の終わりから平成を振り返りたいと思います。

吉祥寺病院は昭和29年に父が開設した精神科単科病院で、父がワンマン院長として引っ張ってきました。その父が昭和56年に突然肺梗塞のために亡くなり、その後母が理事長、原藤先生が院長として運営してきました。

私は昭和59年に医師となり帝京大学第1内科で4年間内科医として働き、吉祥寺病院に労働組合ができ混乱しているとの理由で急遽当院へ戻ることになりました。62年から週1回のパート医として勤務し、63年に内科から精神科へ転科し帝京大学精神科で2年半学び、平成2年より常勤医、3年より副院長となりました。

内科の第一線で働いていた医師が精神科へ転科し、単科精神科病院に勤務したわけですが、環境の違いと時間の流れがあまりにゆっくりしている事に随分戸惑いました。

吉祥寺病院に戻ってから最初に思ったことは、これからの病院は地域に必要とされなければ生き残れないという事です。まず地域ニーズを知るため当院PSWに地域での仕事を捜してもらったところ、調布市と三鷹市で保健所の老人精神保健相談という仕事が見つかりました。月1回両保健所で精神科医が相談業務を行うもので、認知症の高齢者を抱えたご家族が次々に相談に来られました。そのことによりご家族が疲れ切りほとんど崩壊しそうなご家庭が地域にはたくさんあると実感しました。認知症の高齢者に当院への入院を勧めても「なんで自分が精神科病院に入らなければならないんだ」と怒られてしまい、どうすることもできませんでした。当院はこの地で長年精神科医療を続けてきたので地域の人々にとっては吉祥寺病院は精神科病院という認識しかなく、認知症の高齢者を受け入れるのは難しかったのです。

そのため病院よりもっと垣根の低い気軽に入所できる施設が必要であると思い、老人保健施設の構想を平成4年から考え始めました。母体が精神科病院であるので、高齢者医療では必須の内科・整形外科クリニックを併設し、地域を根ざすなら調布市とのパイプを太くする必要があると考え、在宅支援センターの開設も考えました。その当時調布市には在宅介護支援センターは1件もなく、調布市と随分協議しやっとのことで調布市としては初めての在宅介護支援センターはなみずきが老健開設と同時期にオープンできました。

平成7年11月老人保健施設花水木はオープンしましたが、まだその頃は老人保健施設という名前も都民には広まっておらず、花水木も都内で21番目の老健として早い時期での開設でした。現在都内には200近くの老健が建っています。

副院長を兼任しながら老健の施設長になり、4年間程はほとんど老健の仕事に忙殺されました。一応老健が軌道に乗ったため平成11年4月に吉祥寺病院院長に就任しました。院長に就任した時3つの目標を立てました。

1つ目は医局を強化すること、2つ目はソフトの強化、3つ目はハードの強化です。

医局は先代の方針から常勤医が少なくパート医の多い病院でした。私が院長になった時も常勤医は私を含め5人しかいませんでした。しかし私は良い病院にするには良い常勤医をたくさん集めなくてはと思っていました。そのため常勤医を増やす努力から始めました。

ソフトの強化については当時当院では自分達で勉強し、より良い医療を提供しようという雰囲気が薄く、教育の必要性を強く感じていました。太田看護部長に相談し教育委員会を作り、教育に力を入れました。

また病院機能評価を受審することにより質の向上を目指しました。院内のムードは「今でも忙しいのに機能評価など受ける必要があるのか」という消極的なものでしたが、「良い病院にするには世間で認められている尺度に合わせる必要があるのでは」と皆を説いて回りました。最初は事務長をトップに据え病院機能評価点検委員会を作り1年後にレポートを提出してもらい、その直後に病院機能評価の受審を宣言し、平成13年10月に受審し12月に認定を頂きました。病院機能評価の受審は院内が1つの目標に向かい、まとまっていくのを肌で感じられる体験でした。以降4回受審し認定されています。

ハードの強化としては古い病棟の建て替えです。昭和30年代に建てられた栄養科・職員食堂や40年に建てられた管理棟・A病棟を3期にわたる工事で建て替え、平成16年10月に新棟が完成しました。

院長就任時の目標はある程度達成できたので、今後の方向性を決めるため、平成18年に近隣にある34の精神科病院の流れを調査しました。その結果も考慮し、平成20年に外部業者も入れ当院の将来目標を明確にして、21年から25年までやりがいプロジェクトを行いました。やりがいプロジェクトは各部署から参加してもらい、経営目標を設定し、外面として「統合失調症に日本一強い病院」、内面として「職員にとって働きがいのある病院」を掲げました。また地域と連携し統合失調症の患者さんの入院を増やすAチーム、入院受け入れ体制を強化するBチーム、プロジェクトの方向性を病院全体で共有するためのCチームの3チームを作り活動しました。

26年からは経営目標を達成することを目的に企画運営会議を立ち上げ、目標も1年ごとに設定するようにしました。

この間A4病棟を救急病棟に替えるなど経営努力も続けてきましたが、外部環境の変化が大きく病床利用率が低下し入院患者数も延び悩む状態になっています。

平成最後の年となる平成30年度は「持続可能な発展のため刷新を図ろう！」を基本目標におきました。

また外面として「統合失調症に日本一強い病院」に加え「救急・急性期治療を強化する」とし、再び初心に戻ることにしました。

医局の常勤医は私が院長になった時の5名から一昨年は16名まで増えましたが、昨年より各医師の事情により減少しています。また今まで各年齢層の医師がバランス良く配置されていましたが、私が年をとるのと同じく医局の先生方も皆一緒に年をとってきており（当院は有難いことに長期にわたって勤務して下さる医師が多いため）、今後各年齢層の医師をバランス良く配置し、より良く働けるように工夫したいと思います。

ソフトの強化としては、今まで院内・外の研修等医療の質の向上のため専門職研修に力を注いできました。しかし今後は当院を組織的に支える人材育成により力を注ぎ、将来当院を背負っていく管理者を育てていこうと思います。

ハードの強化としては、B棟の建て替えを前提として話を進めてきましたが、東京オリンピックが決って以降建築コストは倍以上に跳ね上がり、とても手が出せなくなってしまいました。また財政赤字が膨らむ中で、いつまで今の診療報酬体系が守られるのか不透明な環境下での建て替えリスクは高過ぎると判断し、耐震化とリニューアルで乗り切ることにしました。耐震工事は昨年10月から始まり今年1月末に終了します。リニューアル工事は耐震工事終了後、開始したいと考えています。外部環境が大きく変化する中、今まで以上に良い病院を目指していきたいと願っておりますので、今後ともご協力宜しくお願い致します。

新年のご挨拶

看護部長　伊藤 久代

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

平成30年の当院での大きな出来事の一つは、A2病棟を急性期治療病棟入院料の基準取得に向け、10月から実績づくりを開始したことです。平成29年10月から男女混合病棟として運営を開始し、新規の患者を受け入れつつ、長期入院の患者さんには少しづつ転棟していただき、職員も患者さんも慣れてきた状況で実績作りを開始しました。開始後3カ月の実績は新規入院患者の割合、3か月以内の退院患者の割合はいずれも施設基準の数値4割以上をキープし、順調な滑り出しといえると思います。病院としては急性期の病棟が救急入院病棟と急性期治療病棟の2つになりました。全体の入院患者数の7割がこの二つの病棟に入院してくることになります。統合失調症、気分障害、認知症などの疾患、患者さん個々の症状やニーズに対応しながら3か月以内の退院を目指していかなければなりません。多職種でのカンファレンスを充実させ、退院後の支援体制なども含めたきめ細かい対応が実践できるように、治療やケアの充実をさらに図っていきたいと思います。

2つ目は10月からB棟の耐震工事が開始されたことです。B棟は昭和51年の建築ですが、耐震診断の結果では以外としっかりした建物で、東側の個室部分の耐震補強だけで良いということでした。あまり大がかりな工事でなくてよかったと思ったのですが、いざ始まってみると耐震鉄骨ブレースの取り付けや防火扉の交換、耐震スリット工事などコンクリートをハツる工事が意外と多く、強烈な音に悩まされ、個室側の窓に取り付けられた防音、防塵シートのため、職員休憩室と個室が真っ暗になる、個室側のエアコンの交換工事で部分的に暖房が使えないなどなど患者さんや職員には強烈な騒音、寒さ等ご不便をおかけしています。騒音の強い時間帯にはレク参加やリハセンターなどで過ごしていただくなどできる限りの工夫はしているのですが…。また、外階段が一か月閉鎖されたために患者さんの病棟への出入りにもご不便をおかけしました。新年早々にB1,B3病棟の室内部分の工事が始まります。1月末には大方の工事は完了する予定ですが，もうしばらくご協力よろしくお願いします。

昨年は4月に島根県西部、6月に大阪北部、9月に北海道胆振東部いずれも震度5強から震度7の地震がありました。首都圏でも震度6以上の地震予測の確率は高いところで85％と言われています。耐震工事が終わったことで地震に強い施設になったかなと思っています。病院として災害や不測の事態へ備えて食料や飲料水、医薬品の備蓄、燃料、生活用水、携帯トイレなどひと通りの準備がしてあります。耐震工事も終わりますので、今年度は設備や物の備えに加え、災害時に病院としての機能を維持するための緊急時の職員の配置や勤務計画等について具体的なマニュアルの整備に取り組んでいきたいと考えています。

3つ目は10月から敷地内禁煙がはじまりました。禁煙推進委員会が中心となり、患者さんへの禁煙教育、喫煙マナーの教育など実施し準備をしてきましたが、敷地内での喫煙や敷地外での喫煙マナーが守れないなどが散見され、引き続き喫煙による受動喫煙や自身の健康被害への教育、歩きたばこやポイ捨てなどのマナー教育を実施しながら敷地内禁煙を継続していきたいと思っています。

最後に今年度看護部の目標。看護師の仕事は患者さんへの看護です。自分の受け持ち患者さんとコミュニケーションを取り、患者さんの視点を大事にし、どのような援助をしていくのかを自分の目標にあげ取り組んでいってもらいたいと思っています。多職種とも協働しながら患者さんには満足をそして自分自身も成長しながら看護ができるよう頑張っていきましょう。

新年を迎えて

事務長　根岸 麻矢

皆さま、明けましておめでとうございます。
昨年の漢字1字は「災」でした。たしかに自然災害が続きましたので、いたし方無いという思いです。そんな1年間になるとはつゆ知らず、当院では平成29年から本格的にB棟の耐震工事計画を立ち上げ、昨年秋から耐震工事を実施しています。耐震工事がひと段落した今年は引き続きリフォーム工事へ移る予定です。

A棟と違いB棟は昭和50年代の建物です。耐震検査の結果では、部分的に耐震性が危ういと診断されたものの、その他現状のままで大丈夫とのことでした。昔のコンクリートは物が良いとか。お陰様で大規模な耐震工事の必要はありませんでした。これは一安心です。

さて、耐震工事が開始されるまでの経過について少しお話したいと思います。

最初に取り掛かったのは設計をしてくださる設計業者探しでした。病院設計をした経験があり、耐震設計にも明るい業者さんを探した結果、良い御縁に恵まれ設計事務所が決定した…ところまでは良かったのですが、そこから業者が決定するまでが大変でした。

耐震工事は東京都の補助金を受けました。東京都が大震災に備え補助金を出して下さることは大変ありがたく思います。しかし、補助金は皆様の税金から出ていますので、東京都の業者選定条件は厳しいものです。さらに、皆さまご存知の通り2020年東京オリンピック開催や2019年ラグビーのワールドカップ開催、豊洲の移転工事などなど都内で大掛かりな工事がいくつも行われております。おかげで建

築業界全体人手不足、材料不足となり、工事価格高騰のあおりを受けてしまいました。価格の高騰に拍車がかかり、こちらの入札見積もり金額と業者の見積もり金額の折り合いはつくはずがありません。最終的に業者が決定するまでに3回の入札会を開催、期間にして半年以上を費やしました。

工事を開始したことによって、騒音問題だけでなく、足場設置のため迂回路を通らなければならないことや、足場用シートで窓の外が見えず昼間から電気を点けなければならないことなど、患者さんやお越しになるご家族、職員皆様に大変ご迷惑をお掛けしております。

心苦しい思いで工事を見守っているのですが、皆様が「安全になるし、綺麗になるのだから我慢する」と言ってくださるのを聞くと、リフォーム後には「以前と同じ病棟とは思えない」と言っていただけるものに仕上げたいと力が入ります。

リフォーム工事は、この「じんだい」がお手元に届くころには業者が決まっていることでしょう。その後、具体的な工事計画を検討し工事が始まります。

病棟の水回りも一新する予定ですが、水回りが変わると病棟の雰囲気も変わると思いますし、使い勝手の良いものになれば、患者さんが安心して療養でき、職員が快適に思える職場環境を少しでも叶えられると期待しております。

平成が終わり、新たな環境で新時代を迎えられるよう工事業者と綿密な打ち合わせをしながら、完成に向けなるべく短期間の工事になるよう努力いたしますので、もう少々の我慢をお許しください。

今年もよろしくお願いいたします。

文化祭2018開催!

今年も文化祭が開催されました！
いつもご協力くださる作業所様や、
病棟の出店を一部抜粋してご紹介したいと思います！

A2

A2病棟はホイップクリームの乗ったプリンです！最強の組み合わせです。

B2

B2病棟の方よりコメントを頂きました！
「B2病棟は去年に引き続きフランクフルトを出店しました。アツアツのフランクフルトは毎年好評です。普段の入院生活のなかでは出来ないお祭り気分を味わって頂けたかと思います。」

B3

B3病棟はコーヒーゼリーでした！
美味しそうな香りがしてきそうですね！

A3

A3病棟は豚汁です。外で食べるとどうしてこんなに美味しいんでしょうか。

作業所様紹介のコーナー

文化祭にご協力いただいた作業所様をご紹介します！

むうぷ舎中原

むうぷ舎中原は家庭的な雰囲気のなかで、それぞれの体調に合わせて仕事をします。生活のリズムをつくり、就職前の練習、仲間作りができる場です。仕事としては、ダイレクトメールの封入、ラベルの貼付などのDM作業、焼き菓子のパッケージ、ラベル貼りなどを行っております。工賃は2018年12月時点で時給540円になりました。皆で協力し、気持ちよく仕事ができる場を目指しています。

ひまわり第二共同作業所

ひまわり第二共同作業所では、紙箱折りなどの下請けの仕事やビル・公園の清掃などを行なっています。和気あいあいとした雰囲気の中で、それぞれが自分のペースでできることを行ない、助け合いを大切にしながら仕事をしています。通所は週に2日～、半日通所でもOKです。年2回の日帰りレク、1泊2日旅行など、余暇活動も充実しています。見学はお電話にていつでも受け付けております。

こひつじ舎

こひつじ舎とは、西調布駅から徒歩5分ほどのところにある作業所です。通所しているメンバーは、20代から70代までの方々が所属しています。ダイレクトメールの封入・封緘等の内職作業やマンション清掃、ポスティング、青果市場での仕事等の外作業、そして病院に入院している患者様に日用品を配達する作業など様々な活動をしています。いつでも受け付けております。

巣立ち風

巣立ち風は社会福祉法人巣立ち会が運営する、精神障害のある方へ日中活動の場を提供する施設です。内職作業、アパート清掃等の清掃作業や自主製品販売の他、料理や映画などのプログラムや季節ごとのイベントがあり旅行にも出かけます。就職を目指す方、日中の居場所としてご利用される方など、毎日多くの方がそれぞれの目的で通われています。

巣立ち工房

巣立ち工房は、チラシ折りやダイレクトメールの封入等の内職作業のほか、公園・マンション清掃、陶器、ふきん、アクセサリー等の自主製品の製作・販売を行っています。日々の生活を楽しんでいただけるよう様々な行事も企画しています。和やかな雰囲気でマイペースに利用していただける場所です。

学会発表の感想

第1回日本こころの安全とケア学会での発表報告

精神看護専門看護師　兼
A2病棟　主任　大津 絵美子

平成30年12月1日～2日に東京都立松沢病院にて、第1回日本のこころの安全とケア学会が開催されました。今回、「組織にCVPPPを浸透させるプロセス～院内研修の企画と運営～」というテーマで当院のCVPPP(包括的暴力防止プログラム)研修の変遷について口演発表をさせていただきました。CVPPPとは、攻撃的な患者に対して、単に身体的介入を行うのではなく、ケアとして患者に寄り添い、その怒りがおさまるように治療的に関わり、安全で治療的な環境を守るという視点で構成されたプログラムです。現在、当院では9名のCVPPPトレーナーが活躍しています。学会当日は300名以上の参加があり、自組織に即した研修をいかに行うかという当院の発表は多くの関心を引いたものとなりました。また今回の発表を行うことで、当院の研修システムを振り返り、新たな示唆を得ることができました。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

院外での看護研究の発表を終えて

A2病棟　看護師　菊池 美紗

今回、日精看の学術集会で看護研究の発表をさせていただきました。5Sをテーマに取り上げ、研究メンバー以外に病棟全体で取り組むことができました。スタッフの協力もあり、目に見える変化もあってやりがいのある研究でした。外部での発表を選んだのは5Sが精神科医療の現場でも拡散され、業務効率化につながるきっかけになってほしいと思ったからです。研究をするにあたり追い込まれた時期もありましたが外部で発表したことで良い経験となりました。このような機会をいただき、有難うございました。

学会発表を終えて

A3病棟　看護師　大田 黎奈

今回、私たちは長野県にて行われた「日本精神科医学会学術集会」に参加させていただきました。学会では全国の精神科医療や看護に触れる事ができ、新鮮な気持ちで参加することができました。自身の発表としては「精神科女性病棟における退院への思い」を題材とし、女性病棟における患者の不安や退院への困難さに視点を当てた発表を行いました。人前にたつ事を極力避けてきた私としては全身の血の気が引く思いでしたが、師長さんをはじめ病棟スタッフに助力をいただき、無事に発表を終える事ができました。学会後に師長さんと食べた金目鯛の味は忘れません。緊張ばかりが先だってしまった今回の学会でしたが、このような機会をいただけた事に深く感謝いたします。

学会発表を終えて

A4病棟　看護師　藤森 舞

今回、私たちは沖縄で行われた日本精神科救急学会で、「精神科スーパー救急で隔離拘束看護クリニカルパスを導入した効果」について患者視点、看護師視点からの２つの研究発表を行ってきました。学会で発表するのは初めてでしたが、緊張しながらも無事に発表を終えることができました。２日間参加しましたが、他の方の研究発表では認知症の患者への関わりや精神科救急におけるハードとソフトに関する研究など興味深いものが多くあり、たくさんの学びがありました。

看護研究を行うのは今回が初めてでしたが、先輩たちや病棟のスタッフの方々に助言を頂きながら何とか研究を進めることができました。私は沖縄にはじめて行きましたが、きれいな海やおいしい食べ物にたくさん出会うこともできました。貴重な機会をありがとうございました。

看護研究院外発表について

B1病棟　看護師　伊東 良治

H30年10月26～27日、四国の高松で開催された精神看護学術集会に参加しました。「足部の背屈運動を取り入れた転倒予防体操の効果」という題目で口頭発表をしました。院外発表は2回目ですが、口頭発表は初めてでとても緊張しました。他院の参加者からも質問を頂き、無事に発表を終えることができました。退院支援や家族への関わり方について他の発表者の発表も拝聴し、学ぶところが多くありました。発表を終えた後で食べたうどんや瀬戸内海の海鮮は格別の味でした。

看護研究院外発表について

B2病棟　看護師　金子 健太

私は第32回東京都精神病院学会にて、口演発表をさせて頂きました。発表内容は「当院における誤嚥・窒息の実態調査」であり、当院で1年間に起こった誤嚥・窒息事故を調査し、傾向と対策を検討する研究でした。発表では研究の結果明らかとなった、「誤嚥・窒息リスクの低い患者が誤嚥・窒息事故を起こした場合、リスクの高い患者に比べて重症化しやすい」という傾向を中心とした発表をしました。他の方の発表内容も興味深いものが多く、特に講演発表は依存症の方々への考えを根本から覆すような、非常に勉強になる内容でした。毎年参加させて頂いていますが、新入職者はもちろん、経験年数の長い方々であっても、学びの多い場であると思います。

看護研究の院外発表を終えて

B3病棟　看護師　椿 よしの

看護研究は就職して2回目でした。院外の発表を私が行うのは初めてで、勝手がわからず、期日中に提出できなかったり、題目を忘れてしまったりと反省点が多くありました。当日は院長はじめ、皆様に来ていただき、とても心強く感じました。無事に発表を終えることが出来てとてもほっとしています。こんな場ではありますが、ありがとうございました。看護研究はテーマを決めるまでがとても難しく、大変な作業だと改めて感じました。研究は一緒にできませんでしたが、一緒にテーマを決めてくださって感謝しております。

新しい仲間をご紹介！

新人紹介コーナー

氏名	SK A2病棟 看護師	YI 薬剤科
❶ 出身地	❶ 東京都	❶ 東京都
❷ 吉祥寺病院の第一印象	❷ テキパキと手際がよいなと思いました	❷ 施設がきれい
❸ 私のモットー	❷ 七転び八起き	❸ がんばりすぎない
❹ 最近ハマっていること	❹ お菓子作り	❹ 乾物料理

平成30年度　吉祥寺病院行事予定

1月

行事関係

4日（金）仕事始め
10日（木）レク（初詣・深大寺）
12日（土）ファミリーサポートセミナー
19日（土）家族会

研修関係（予定）

看護研修（プリセプティ⑦）
看護研修（プリセプター⑥）
看護研修（助手研修）
看護研修（2年目③）
看護研修（実践研修：患者の思い②）
院内教育研修（行動制限最小化）

2月

行事関係

2日（土）ファミリーサポートセミナー
16日（土）家族会
23日（土）家族教室

研修関係（予定）

看護研修（プリセプティ⑧）
看護研修（プリセプター⑦）
看護研修（看護研究発表会）
院内教育研修（院内合同研究発表会）

3月

行事関係

9日（土）ファミリーサポートセミナー
16日（土）家族会

研修関係（予定）

看護研修（事例検討会⑤☆）
看護研修（H31プリセプター①）
院内教育研修（院外研修報告会）

永年勤続表彰

平成30年11月7日、東京明治記念館において、東精協・日精協主催による永年勤続表彰式が行われ、当院からは以下の2名が10年表彰されました。

● DC・NC室の髙橋 龍哉さん　● A-3病棟の境野 一雅さん

御二方、おめでとうございます。今後も益々のご活躍をお祈りしております。

当院のおすすめメニュー

鱈のみぞれあんかけ

1人分栄養成分

エネルギー 180kcal
タンパク 15.5 g
塩分 1.3 g

材料（2人分）

生鱈……2切れ（1切れ80 g程度）
塩…… 0.8 g（少々）
片栗粉…… 15g（大1.5）
揚げ油…… 適量
砂糖…… 6 g（小さじ2）
醤油…… 10 g（小さじ2）
大根…… 120 g

作り方

❶ 生鱈に塩をふり片栗粉をまぶして油であげる
❷ 大根をおろしておく
❸ おろし汁も一緒に鍋に移し、砂糖と醤油をいれひと煮立ちさせる
❹ 揚げた鱈におろしをかける

タラの旬は12月～2月の寒い時期です。
タラはエネルギーが低く、タンパク質が多く、タンパク質の合成に必要なビタミンB12も豊富な魚です。
また、味が蛋白なのでどんな料理にも使用出来ます。
今の時期はきのこ等を入れてお鍋も最高です。
大根の旬も11月～2月です。
寒い時期の大根は甘みもありみずみずしいです。
大根は消化を助け、胃腸を整える成分を含んでいます。

外来担当表

	月	火	水	木	金	土
診察室 (1)	原藤	院長	原藤	小木	原藤	原藤
診察室 (2)	市川	市川	岡田	市川	市川	亀山
診察室 (3)	田澤	西岡	西岡	田澤	西岡	西岡
診察室 (4)	森 / 森 (栄)	岡田 / 渡邊	森 / 森 (栄)	高岡	森	森
診察室 (5)	南	山室 / 南	山室	山室	南	山室
診察室 (6)	土井	土井	西山	土井	岡田 / 土井	高岡 / 渡邊

受付時間

月~金　午前 9時~11時 (初診・再診)
午後 1時~ 3時 (初診)

土　午前 9時~11時
午後も入院は受け入れています

10月より「敷地内全面禁煙」となりました。

調布市深大寺北町 4-17-1

編集後記

初めて編集後記を担当させていただきます。A4の紙3枚にたくさんの人が関わっていて、結構苦労して、結構楽しみながら広報誌が作られていることを知りました。普段はさらっと目を通すだけの方も多いかと思いますが、編集した者としましては「まぁまぁ、ゆっくり見ていってくださいよ。」と言った具合でございます。

(TK)

12月は病院でクリスマス会がありました。アイドルの方が歌やダンスを披露する催しがあったようですが、残念ながら私は観ることができませんでした。参加した患者さんに感想を聞いてみたいと思います。当院は、季節感を感じられるイベントを盛んにやっていて、とてもいいなと思います。

(MT)